

宝塚市パークマネジメント計画等審議会 第7回審議会
概要資料

目次

(1)今回の審議会について	2
(2)公園区計画の作成の流れ・調整状況	3
ア)進め方	3
イ)まちづくり協議会、自治会の意向確認状況	3
ウ)各公園区における公園区計画作成の進め方	4
(3)街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容	10
(4)開発協力金制度の検討状況	12
ア)これまでの経緯と今後の予定	12
(5)シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディングの実施	13
ア)実施概要	13
イ)対話参加者のおもな業種	13
ウ)提案の概要	13
エ)その他の留意事項や、市に対して求めること(意見)	13
オ)今後の予定(見込み)	14

【資料構成】

資料 1 概要資料(本紙)

資料 2 今後の審議会・作業部会における審議・検討の流れ(案)

資料 3-1 宝塚市街路樹管理計画(案)

資料 3-2 宝塚市街路樹管理計画(案)概要版

○全体説明用資料

(1)今回の審議会について

本紙と合わせ、資料2をご参照ください。

■審議のポイント

- 今回の全体的な流れ、今後の審議会等の予定の確認
- 報告事項、主要審議事項、関連事項における各到達目標の確認

今回の審議会の構成・到達目標

【報告事項】

- ① 公園区計画の作成の流れ・調整状況 資料1
- ・ 公園区計画の作成に向けた各先行協力地区との「ワークショップ準備会」の開催状況、今後の進め方等について確認いただく。

【審議事項】

- ② 街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容 資料1、3-1、3-2
- ・ 街路樹管理計画（案）及び概要版の修正内容について審議いただく。

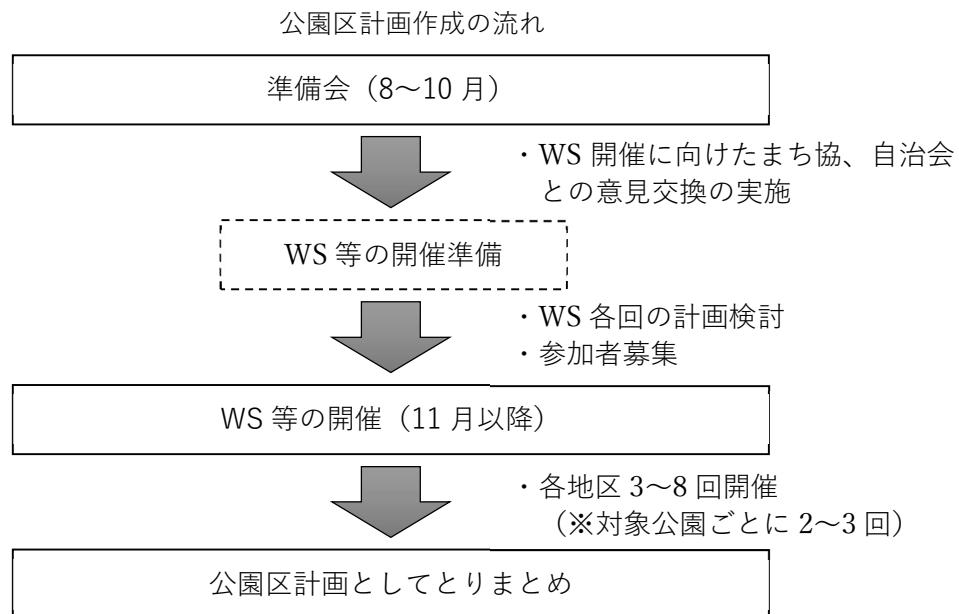
【関連事項】

- ③ 開発協力金制度の検討状況 資料1
- ・ 開発提供公園の整備に代わる開発協力金制度の検討状況について確認いただく。
- ④ シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディング実施状況 資料1
- ・ サウンディング（対話）の実施状況について確認いただく。

(2)公園区計画の作成の流れ・調整状況

ア)進め方

ワークショップ（以下、「WS」とする。）等開催の準備として、まちづくり協議会、自治会との意見交換（以下、「準備会」とする。）を実施。WS の開催計画に地元意見を適宜反映したうえで、WS を開催。



注：準備会では下記の意見交換を実施

- ①子ども・子育て層を含む地域の方々の巻き込み方の相談
- ②WSにおける対象公園の意向確認
(全体的な計画にするのか、全体を見据えた何公園かの計画など)
- ③WSのスケジュール及び内容（案）の共有

イ)まちづくり協議会、自治会の意向確認状況

各まちづくり協議会、自治会と計画作成に係る考え方、進め方を確認している。

※各回の意見概要は参考資料（6頁以降参照）

●先行地区（宝塚、長尾、中山台の3公園区）における準備会日程

公園区名	準備会日程
長尾	第1回準備会 7月28日（月） 第2回準備会 9月22日（月） WS等の実施に向け調整。必要に応じて第3回準備会を実施する。
中山台	第1回準備会 8月3日（日） 第2回準備会 10月11日（土）
宝塚	第1回準備会 8月30日（土） 現在、WSの内容等について確認中。 必要に応じて第2回準備会を実施する。

ウ)各公園区における公園区計画作成の進め方

※具体的な進め方は参考資料（6頁以降参照）

①長尾公園区

●計画作成の進め方

公園区が広く地域性も異なることから、計画作成にあたっては、小学校区ごとに4つの地域に分け取り組む方針。そのため、WSに加え、事前にアンケートを実施し、地域ニーズ等を把握した上で、WSにおいてそれらを踏まえた計画の取りまとめを行う。

●対象公園

次の4公園を対象とする。

- 平井公園（長尾小学校区）、山本丸橋3丁目公園（長尾南小学校区）、山本野里公園（丸橋小学校区）、中筋5丁目かいづか公園（安倉北小学校区）

※中筋5丁目かいづか公園については、今年度はワークショップを開催しない。

②中山台公園区

●計画作成の進め方

公園区を複数の区域に分けて、各区域の主要な公園ごとに計画を策定する方針。

対象公園のうち、中山中央公園では中山台公園区の全戸にWEBアンケートを実施し、結果を踏まえて、WSを行うかを含め、具体的なことを地域と話し合う予定。

その他の公園については、方向性や地域ニーズ等を各自治会が整理し、その内容を踏まえて、市と自治会が中心となり、整備運営方針を検討し計画として取りまとめる見通し。

●対象公園

各区域の主要な公園を対象とする。

- 中山中央公園（WEBアンケート等の対象公園）
- 中山桜台公園、中山五月台公園、中山台みどり公園（市、各自治会が中心となり計画として取りまとめる公園）

③宝塚公園区

（※現在、下記の概要、対象公園に関する市の案について、まち協及び自治会で検討中）

●計画作成の進め方

WSを実施し、小規模公園の機能分担や管理方法、対象公園の管理運営等について、地域のニーズ等を把握し検討したうえで、計画として取りまとめる方針を地域に提示。

●対象公園

対象公園に関する市の案を提示。（小規模公園が隣接しているところをピックアップ）

参考資料

●各準備会での意見

公園区名	概要 ※（代）：代表者意見、（準）：準備会意見
長尾	<p>(代) 地域が広く、対象公園を限定し、試行的な取組から着手したい。</p> <p>(準) 公園区計画を進めるうえで、いくらぐらい予算が使えるのか明確でなければ、計画の検討が難しいのではないか。</p> <p>(準) 地区内でも地域性が異なることや、公園数が多い現状なので、各小学校区 1 公園ずつ（平井公園、山本丸橋 3 丁目公園、山本野里公園、中筋 5 丁目かいづか公園）、計 4 公園を対象としたい。</p> <p>(準) 中筋 5 丁目かいづか公園がある自治会は準備会に参加しておらず、説明が必要。賛同していただけるかどうか市が確認してほしい。</p> <p>※中筋 5 丁目かいづか公園がある自治会に確認したところ、対象公園とするものの今年度は公園区計画作成の周知、地域のニーズ把握に留めるという意向である。</p> <p>(準) 市からの提案は 4 公園を 2 グループに分けて開催することだが、実際の公園利用は公園の周辺住民が大半なので、まとめでの開催ではなく、4 公園別で開催すべき。地域の方の意見を聞きたいなら地域に寄り添うべきだと考える。</p> <p>(準) アンケートを実施することで、地域の意見を吸い上げることが出来るのではないか。地域へのポスティングは自治会で対応する。地域の方に公園区計画を理解してもらうのに時間がかかるので、公園区計画の説明もアンケートに入れれば効率的ではないか。また、アンケートで意見をいただいた方を対象に WS を開催はどうか。</p>
中山台	<p>(代) 地域の方が使える公園。ソフト面での利活用を期待。地域の大規模なお祭りの際に公園を臨時駐車場として利用できないか。</p> <p>(準) 地区内を複数の区域に分けて、区域の主要な公園ごとで検討出来ないか。 （中山中央公園、中山五月台公園、中山台みどり公園、中山桜台公園）</p> <p>(準) まち協及び自治会で地域の公園の課題などを整理する。市には、それを踏まえて、計画作成に協力いただきたい。</p> <p>※まち協は中山中央公園、自治会ではその他の公園について整理</p> <p>※中山中央公園での取り組みイメージについて、まち協でイメージが出来ないので、市の方で案を提示していただきたい</p> <p>(準) 中山中央公園は WS を実施することとしていたが、WS を実施する前に、中山中央公園のあり方、方向性について議論する必要があるのでないか。そのため、中山台公園区の全戸に WEB アンケートを実施し、公園に求める役割やニーズ等を把握してはどうか。その結果を踏まえて具体的なことを検討するための WS 等を実施してはどうか。</p> <p>(準) アンケートの配布は自治会で協力できる。</p> <p>(代) 中山中央公園以外の対象公園については、各自治会が公園の方向性等をまとめて出してほしい。</p>

宝塚	<p>(準) 地域の公園配置や利用状況等を踏まえ、川面 1 丁目公園を対象に、高齢者の憩いの場、放課後に子ども達が集う世代間交流の場とするような検討ができるのか。</p> <p>(準) 市の告知協力を受けながら、20~30 人程度集まるような、WS 形式で開催したい。それも、複数班に分かれるのではなく、同時に全員で議論できる環境が重要ではないか。</p> <p>(準) 予算の裏付け、実現性が明確でなければ、計画検討にどの程度協力いただけるか不確かである。</p> <p>(準) 子ども利用が多いのは、600 m²程度よりも大きな公園というイメージがあるが、当公園区には 10 ヶ所ほどしかない。機能分担の観点から、公園が余剰となっているような地域については、狭小公園を売却・統廃合する等の思い切った検討ができるないか。</p> <p>(準) 狹小公園でも、憩いの場や季節を感じる場として機能する。必ずしも売却することが望ましいとは言えない。子どもたちが利用したくなる、スタンプラリーやかけっこ教室のような仕掛けを検討することが重要ではないか。</p> <p>(準) 今後の公園の使い方を検討するにも、公園利用の禁止事項を十分把握している。こうした公園利用の前提条件について整理いただきたい。</p> <p>(準) 公園区外であるが、花のみち、さくらばし公園は、当公園区の子どもの利用が多い。計画の対象とすることができないか検討してほしい。</p>
----	--

●各公園区における公園区計画作成の進め方（WS 等の実施方法）

①長尾公園区

WS、アンケートの内容等を準備会の方々に確認し、実施する方針。

アンケートによる地域のニーズ等の把握は 11 月を予定。

（※以下は市の案。庁内で検討中。）

<アンケートの実施>

公園区計画の意義や内容について市に何回か説明してもらってもイメージが湧かないため、いきなり WS で人を集めてもそこを理解できないまま進めてしまうことになる。

そのようなことが無いように、事前に紙で公園区計画についての説明と、ついでにアンケート調査を行い、地域ニーズを拾いあげてはどうか、との地域からの提案があったため、第一回 WS をアンケート調査に換え、3 公園×WS 2 回/公園 = 6 回の WS を実施する予定。

※中筋 5 丁目かいづか公園については、今年度は WS を開催しない。

実施方法：WEB アンケート

配布方法：小学生、中学生については、支給されているタブレットに送信し配布。

QR コード付きのチラシを対象公園及びその周辺の公園、公共施設等に掲示

自治会での回覧及び配布

実施期間：2025 年 11 月 1 日(土)～16 日(日) (想定)

<ワークショップの実施>

アンケートから得たニーズに対応するための整備・運営について話し合い、計画を取りまとめる。

また、子どもや子育て層も含めた地域の方々と一緒に公園について考えるきっかけとする。

実施回数：6 回（3 公園×2 回）

実施内容及び時期：

回	時期	各回のゴール（獲得目標）	各回の意見交換の内容
アンケート 調査	11 月 上旬	・公園区計画作成の目的、進め方 の共有 ・対象公園のニーズの収集	・今後の地域の公園づくりについての共有 ・対象公園でやりたいこと、やってほしいこと (ハード、ソフト両方) など、対象公園に対して求めるについて意見を収集
第 1 回	1 月 中旬	・対象公園を使いやすくするた めの整備・運営方針、方法の検 討	・対象公園の課題整理 ・ニーズに対応するための整備・運営で市ができる ことの共有 ・ニーズに対応するための整備運営で市と地域 でできることの検討 ・利用ルールの検討
第 2 回	3 月 下旬	・公園区計画として対象公園の 計画を取りまとめる。	・対象公園の目指す姿、それに向けて市と地域の 役割分担などを整理 ・それぞれで行うスケジュール感の検討

②中山台公園区

<アンケートの実施>

中山中央公園を対象に WEB アンケートを実施し、公園に求める役割やニーズ等を把握する。その結果を踏まえて市と自治会で公園のあり方を検討する。その後 WS 等で具体的なことを話し合う。

実施方法：WEB アンケート

対象公園：中山中央公園

配布方法：自治会から配布

実施期間：2025 年 11 月以降

<市、各自治会が中心となり計画として取りまとめる>

対象公園：中山桜台公園、中山五月台公園、中山台みどり公園

- ・自治会で公園の現状、課題を整理し、公園の方針、施策等の検討を行なう。
- ・上記の計画（案）についてアンケート調査により地域の意向を伺うことを想定。
- ・アンケート調査で得た意見を元に計画（案）の調整を行うことを想定。

③宝塚公園区

市の案を提示し、まち協及び自治会で検討中。

(※以下は市の案)

対象公園：小規模公園が隣接しているところで検討中

実施回数：3回

実施内容及び時期：第1回については、対象公園で実施。

イベント的な賑やかさと休憩スペースを設置し、来られた方に対象公園でやりたいこと等の意見を付箋に書いてもらい貼りだす。その後集まった意見について意見交換会を実施する方針。

回	時期	各回のゴール（獲得目標）	各回の意見交換の内容
第1回	11月上旬	・対象公園のニーズを発散させ、地域ニーズの確認	・対象公園でやりたいこと、やってほしいことなど、対象公園に対して求めることについて意見を伺い、内容を確認
第2回	1月中旬	・対象公園を使いやすくするための整備・運営方針、方法の検討	・対象公園の課題整理 ・ニーズに対応するための整備・運営で市ができるとの共有 ・ニーズに対応するための整備・運営で市と地域でできることの検討 ・利用ルールの検討
第3回	3月下旬	・公園区計画として対象公園の計画を取りまとめる。	・対象公園の目指す姿、それに向けて市と地域の役割分担などを整理 ・それぞれで行うスケジュール感の検討



(3)街路樹管理計画の案及び概要版の修正内容

※別紙資料3-1、3-2を参照

第6回審議会における審議事項を踏まえ、街路樹管理計画案及びその概要版について、修正を実施した。

路樹管理計画の案及び概要版の修正内容	指摘事項	対応内容
街路樹管理計画案	2 街路樹の現状と問題点 2-2 街路樹が抱える問題（社会的・技術的課題）(p4) 地域住民の落葉に関する苦情を受けて強剪定が行われるなど、社会的・制度的な問題が見受けられる。伐採に過度に焦点を当てないよう留意する必要がある。	街路樹の更新の困難など、伐採以外の課題についても記載。
	5 整備基準 5-2 植栽位置・植栽間隔 5-2-6 防犯上の配慮事項 (p48) 説明文の表現を検討してほしい。	植栽間隔の過密化に変え、過剰な繁茂等に変更。
	5-3 適切な樹種選定 5-3-6 低木候補樹種 (p56) 常緑低木の特性説明文を見直す必要がある。	説明文を見直しし、見本写真を差し替え。
	6 維持管理基準 6-2 市民協働による維持管理 6-2-1 市民（緑化団体）(p63) グリーンインフラに配慮した住民花壇スペースについて記載があるが、石を置くだけでは、グリーンインフラの考え方を取り入れたことにはならないのではないか。	59ページ（植栽基盤の設計）に、根系誘導耐圧基盤の設計に配慮することを追記。
	6-2-1 市民（緑化団体）(p63) 石を置くだけでは、グリーンインフラの考え方を取り入れたことにはならないのではないか。また、本格的に雨庭にしようとすると、「石をよけ	59ページの追加内容とリンクし、グリーンインフラに配慮した考え方という表現に修正。

	る」、「戻す」という使い方は難しいのではないか。	
街路樹管理計画 案 概要版	将来の街路樹（目指すべき姿）(p3) 「将来の街路樹」のイラストは樹木が刈込すぎではないか。	樹木のイラストを差し替え。
	街路樹の再整備 (p9) イメージ説明の文末を「伐採」「撤去」ではなく、改善されていくことが伝わる表現を検討してほしい。	(※p7) 下記の表現に修正。 ○歩道幅員が狭く、十分な歩行空間が確保できない路線について必要に応じて樹種の転換や樹木の間伐など行ない、安全・安心な歩道空間の確保に努めます。 ○山間部など周辺に永続的な緑が確保されている路線の樹木は環境保全や景観向上の効果が薄く、相互の生育環境を妨げている場合などは、段階的に撤去して樹木の良好な生育環境を整えます。 ○交差点や横断歩道付近等で見通しの支障となっている樹木を撤去し、歩行者、及び通行車両の安全確保に努めます。
	シンボル路線「花のみち」(p12) 観光客だけでなく、市民にとっても重要な役割があり、そうした役割を踏まえた表現としてはどうか。	(※p10) 市民の日常的な散策利用に関する記載を追加。

(4)開発協力金制度の検討状況

ア)これまでの経緯と今後の予定

【これまでの経緯】

○ 令和 6 年 11 月 11 日 第三回審議会

⇒①開発提供公園のあり方検討の背景、②基本的な考え方、③具体的な方策 の案について報告

【進捗状況と今後の予定】

(進捗状況)

開発協力金制度の創設について、法制担当課と協議し、法的な課題については概ね解決。(負担金を開発地に還元する仕組み、都市計画法施行令第 25 条第 6 項ただし書きの公園整備が不要な場合の整理など)

⇒正式な条例案や協力金の運用面などの調整を行っている。

(今後の予定)

令和 7 年 12 月頃：条例案の作成及び関係課との調整完了予定

令和 8 年 1 月上旬：議会資料の提出

令和 8 年 3 月：議会

令和 8 年 4 月 1 日：施行

(5)シビックゾーン魅力向上に向けたサウンディングの実施

本市では、宝塚市役所周辺（シビックゾーン）の魅力向上に向けて、民間事業者等から様々なアイディアや意見等を収集し、官民連携事業の可能性の確認や公募に向けた検討に活かすためにサウンディング調査を実施した。

事前説明会、書面による提案提出などを経て、計10者の民間事業者等との対話を行った。

ア)実施概要

実施事項	実施スケジュール	参加事業者数
事前説明会	令和7年5月12日	18者
対話	令和7年7月14日～30日	10者

イ)対話参加者のおもな業種

建設業、建物メンテナンス業、公園管理事業、人材アウトソーシング業、スポーツ施設や駐車場等の特定の施設の運営業 等

ウ)提案の概要

(1)管理・活用に関する提案が多かった施設

- *末広中央公園、市役所前ひろば、中庭ひろば・市役所ロータリーなどのオープンスペースと市役所内駐車場や末広中央公園駐車場に関して、それらを一体的に運営・活用したマルシェや体験プログラムの提供などにより、日常的に人が集まる場所とする提案があった。
- *武庫川河川敷緑地について、河川の増水に対する懸念はあるものの、イベント等には有効に活用できるという意見があった。
- *スポーツセンターについて、現施設を活用しながら、さらにシビックゾーン内の各施設や武庫川河川敷緑地、民間スポーツ施設にもネットワークを広げて活用するなどの提案があった。
- *市役所本庁舎・第2庁舎、教育総合センター等の建物内の活用の提案は少なかったものの、建物の維持管理業務については、個別に発注するよりも、できるだけ一括とする方がコストダウンが図れるという意見があった。

(2)施設整備・再整備に関する提案が多かった施設

- *末広中央公園でのカフェや休憩所兼パークセンター（管理事務所）の整備、市役所内駐車場や末広中央公園駐車場の立体化などの意見があった。
- *市役所前ひろばや武庫川河川敷緑地をより一層活用するために、電気・給排水等のインフラ設備を追加する提案もありました。また、利用者のニーズによるが、各施設の部分的な改修は可能との意見もあった。

エ)その他の留意事項や、市に対して求めること(意見)

- *今回のサウンディングを踏まえて、市がシビックゾーン全体の方針や計画、目指す姿を示すことで、事業者はより具体的な提案を出せるようになるだろう。

- * シビックゾーンだけでは魅力向上の範囲が限られるため、宝塚駅周辺等も一体的に取り組むべき。
- * 建物とひろばなどのオープンスペースでは、維持管理や運用に関するノウハウや体制が全く異なるため、一体的に取り扱うべきではない。
- * 未広中央公園は、カフェの出店希望がある。
- * 未広中央公園は、電気設備があれば、大規模なイベントの開催が可能。
- * 未広中央公園は、日影が足りない。
- * 未広中央公園側に駐車場の増設が必要。
- * 老朽化したスポーツセンターのプールの維持管理は、難しい。
- * 未広体育館は、空調整備が無く、老朽化も進んでいるため、維持管理と運営ともに負担が大きい。
- * 公民館は、利用の制約が多いため活用が難しい。
- * ひろばは、何をする場所か想定されておらず、活用が難しい。
- * 全体として、今の利用状況を考えると大きな設備投資は難しい。
- * 全体として、商業的には魅力を感じない。
- * 管理事務所が欲しい。

オ)今後の予定(見込み)

今回のサウンディングで民間事業者等の皆様からいただいたご意見を参考に、シビックゾーンの今後のあり方についての検討を進める。

令和7年度	シビックゾーンの今後のあり方についての市の考えを整理 (この段階で、事業化に向けた詳細サウンディングを実施する可能性あり)
令和8年度頃	シビックゾーンでの事業化に向けた検討
令和9年度頃	シビックゾーンでの官民連携事業に向けた事業者公募